



前線配置エンジニア概要

診察前に、診療所は患者から基本的な問診情報を収集する必要があります。受診理由、症状、持続期間、重症度、現在服用中の薬、アレルギーなどです。これは電話や受付時などに手動で行われることが多く、不完全または矛盾した情報につながることがあります。

自然言語で必要な問診情報を全て収集し、患者が診察に備えられるよう支援する**マルチターン対話型エージェント**を構築する。エージェントは情報が不足または不明確な場合に追問し、不明瞭な回答を確認し、医療従事者向けに構造化された要約を生成すべきである。

この課題には大規模な医療データセットは不要です。エージェントは会話と、例示症状・薬剤の小さな内部辞書のみで動作します。

要件

- マルチターン対話型UI。
- エージェントは以下を必須とする：
 - 患者の発言を解釈する。
 - 回答が不完全な場合に補足質問を行う。
 - 主な受診属性（理由、期間、重症度、症状、服用薬、アレルギー）を特定する。
 - 不確かな情報を確認する。
 - 構造化された要約を作成する。
- 以下のようなやり取りを支援する：
 - 「数日間、腹痛が続いています」 → 持続期間と重症度を確認する。
 - 「血圧の薬を飲んでいます」 → 薬名を尋ねる、または提案する。
 - 「吐き気がある」 → 新しい症状か、重いか、他の症状と関連しているかを尋ねる。

成果物

- システムデモ及び実行可能コードベース
- ソリューションの概要説明